

二〇一九年度特別展

2019
10/12 sat — 11/28 thu

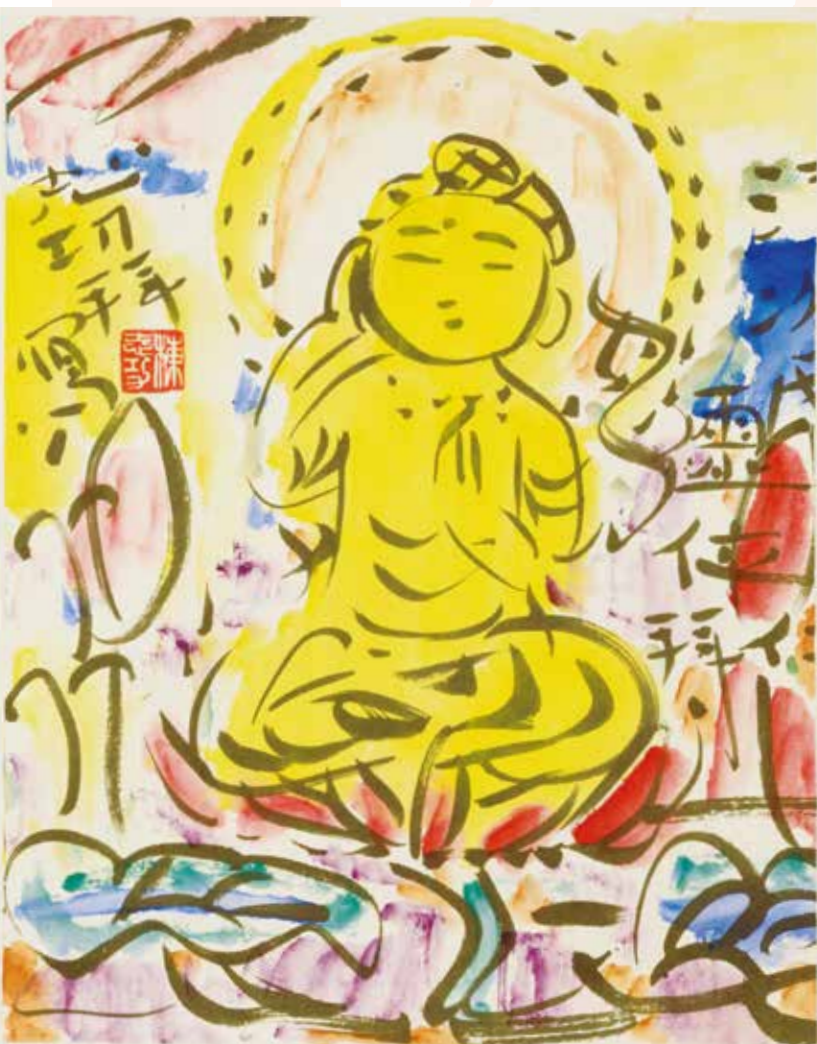
休館日 日曜日・月曜日、10/22(火祝)
(ただし11/10(日)、24(日)、25(日)は開館)
開館時間 午前10時～午後5時 (入館は閉館の30分前まで)
観覧料 一般・大学生 / 500円

主催 大谷大学博物館
後援 京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、
京都市内博物館施設連絡協議会、京都新聞、真宗大谷派(東本願寺)
協力 エフエム京都

右/柳宗悦墨蹟「美之法門 无有好醜願」 大福寺(南砺市)
左/棟方志功「黄金仏尊図」 光徳寺(南砺市)

柳宗悦 棟方志功 と真宗

ととと
土徳の大地と民藝の美



Yanagi Muneyoshi,
Munakata Shikō
and Shin Buddhism:

The Virtues of the Great Earth
and the Beauty of Folk Art

大谷大学博物館
Otani University Museum



日本民藝館展示室にて 柳宗悦、棟方志功(1954年頃) 写真提供：日本民藝館

暮らしのなかの実用品に「用の美」を発見し、それらの生活道具を民藝（民衆的工芸）と名づけたのは、思想家の柳宗悦（一八八九〜一九六一）でした。柳はみずから「直観」によって、国内外の民藝作品を数多く蒐集するとともに民藝運動を展開しました。そして、その柳に才能を見出され、生涯柳を師と慕ったのが板画家の棟方志功（一九〇三〜一九七五）でした。二人はともに戦中・戦後に真宗王国越中富山の人びとの生活に息づく信仰風土「土徳」と出会い、大きな影響を受けました。柳は「仏教美学」という思想を確立し、棟方も自分ではない「他力」による創作活動に取り組みようになつたのです。

本展覧会では、柳・棟方に影響を与えた越中真宗の信仰風土「土徳」について二人の著作や作品とともに紹介いたします。

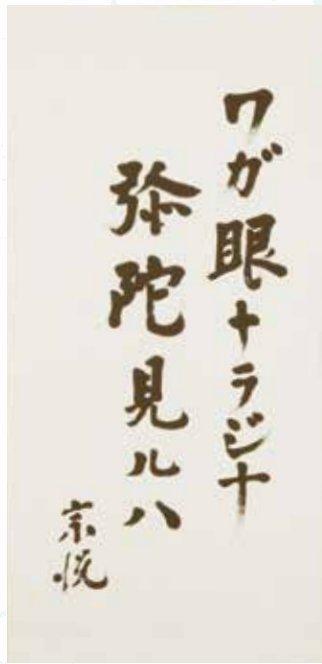
柳宗悦と真宗

棟方志功と真宗

土徳の大地と民藝の美



4



3



2



6



5



1

- 親鸞聖人像（六角堂御通木像）城端別院善徳寺（南砺市）
- 柳宗悦『美の法門』（私版本）大福寺（南砺市）
- 柳宗悦墨蹟「ワガ眼ナラジナ 弥陀見ルハ」大福寺（南砺市）
- 棟方志功「観十方无碍仏図」大福寺（南砺市）
- 棟方志功「歸命尽十方無碍光御如来」光徳寺（南砺市）
- 棟方志功「躑躅山光徳寺風光図」光徳寺（南砺市）

*期間中展示替えあり

記念講演会

美の法門と真宗

講師：太田浩史氏 [真宗大谷派大福寺住職 / 日本民藝協会常任理事 / となみ民藝協会会長]
 講演日：10月29日(火) 14時～
 場所：大谷大学響流館3階 メディアホール
 *聴講無料・事前申込不要

記念講演会

柳宗悦と棟方志功 往復書簡を通して探る`南砺時代`

講師：石井頼子氏 [棟方志功研究者・棟方志功の初孫]
 講演日：11月23日(土・祝) 14時～
 場所：大谷大学響流館3階 メディアホール
 *聴講無料・事前申込不要



大谷大学博物館

Otani University Museum

〒603-8143 京都市北区小山上総町 響流館1F

Tel.075-411-8483 Fax.075-411-8146

http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

- 地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
- 市バス「北大路/バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路」下車
- 駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。ただし、身障者用の車の場合は事前にご連絡ください。



大谷大学

京都・大学ミュージアム連携
 University Museum Association of Kyoto